三豊の幸 満載！

炊き込みごはんでPR

地域や家庭で伝えられてきた伝統的な「炊き込みごはん」を多くの人に知ってもらい、三豊の魅力を再発見してもらおうと、道の駅たからだの里さいたで９月５日、「みとよのほんまもん炊き込みごはんコンテスト」が開催されました。

▲たくさんの人がコンテストに参加してくれました

▲主催者のみとよ100年観光会議の皆さんは早朝から試食の炊き込みごはん作りに大わらわ

◀応募18点の中から最終審査に残った７点。どれも三豊の海の幸、山の幸満載！

▲入賞した皆さん、おめでとうございます

▼100人のお客さんの試食投票と審査員５人の審査によって最優秀賞などが決定しました

▶最優秀賞
「たからだのかやくご飯」

審査の結果、最優秀賞に輝いたのは財田町の飲食店「大安」（大杉雅信代表）の「たからだのかやくご飯」。

これらの入賞作品は、来年開催される「瀬戸内国際芸術祭 2016」の粟島会場で販売を計画しています。

▲同時開催された「たからだ米」新米まつりもたくさんのお客さんでにぎわいました

▲洞爺湖産のスイートコーンとじゃがいもの販売も

見守ります！子どもたちの安全

9／1　三豊市役所

豊中町の筒井章夫さんが、市の交通指導員に任命されました。筒井さんは「交通指導員として子どもたちの安全を見守り、地域に貢献したい」と、今後の抱負を語ってくれました。交通量の多い朝の通学時間帯に、桑山小学校の子どもたちが安全に登校できるよう、見守ってくれます。

自動販売機で地域防災の強化を

8／24　高瀬町防災センター

売上金の一部を市消防団に寄付する「消防団員応援自動販売機」の設置セレモニーが行われ、市と四国コカ・コーラボトリング株式会社が協定を締結し、市消防団の活動強化を目的に協力していくことを確認しました。

応援自動販売機の設置は高松市に続き県内２番目で、市内８カ所の消防団屯所に設置されます。大地震などの災害時には、この自動販売機の商品が非常用飲料水として地域住民に無料で提供されます。

子どもにはしっかりと愛情を

8／18　マリンウェーブ

みえ人権教育啓発研究会代表の松村智広さんを講師にお迎えし『へこたれへん　人はきっとつながれる』と題した三豊市人権・同和問題講演会が開催されました。

松村さんは「周りの人から優しくされた人は、他の人に愛情を分け与えることができますが、虐待を受けたり優しくされてこなかった人は、それができません。子どもにはしっかり愛情を注いでください」と呼びかけました。６００人を超える参加者は、ユーモアあふれる松村さんの話に聞き入っていました。